令和4年度 1学期 始業式 式辞

パスって、何のことかわかりますか。

1. 通過する、審査や試験に合格する。
2. 通行許可書
3. トランプなどの遊びで、自分の順番を飛ばすこと
4. サッカー、バスケットボールで味方にボールを送ること

今日は、この4番目のパスについてお話ししたいと思います。

走っているとパスが来る

サッカーやバスケットボールのゲームでは「走っていると、パスが来る」ことがあります。

パスという物は、人にパスを出すのではなく、相手が動くだろうエリアや走って行くエリアにパスを出す。

反対に「走らない人には、パスは出てこない」

これは高橋政代さんという眼科の医師の言葉です。

高橋政代さんは、神戸の理化学研究所にいました。

加齢黄斑変性（かれいおうはんへんせい 物がゆがんで見えたり視力低下する）という病気に、

i P S細胞（多能性幹細胞＝再生医療）を用いて治療方法を確立し、手術を成功させました。

高橋政代さんは、眼科医として日夜走り続けていました。

だから、そこへ山中伸弥（ノーベル生理学・医学賞）さんが開発した、i P S細胞というパスが飛んできたのでした。

頑張っていたら、良いアシストがある。

頑張っていれば、誰かが助けてくれる。

私も色々なところで、走り続けようと思っています。

生徒の皆さんも、できる範囲で、走り続けて下さい。

必ず良いことが起こると思います。

レシーバーとしての話はそこまで、

パスを送る側、パッサーとして心にとめておいてもらいたいことがあります。

パスは相手が困るようなパス、自分が困っているときに「なんとかして」というパスは、
してはいけないのです。

相手を生かすパス、アシストパス、リードパス、ナイスパスを目指さなければならない
ということです。

事件や問題、悩みなど、精一杯頑張ってお返し、パスしたならば、きっちりシュートを
決めてくれるでしょう

コロナ禍での新学期のスタートも3年目となりました。

いつ、また、蔓延防止、緊急事態宣言が出されるかわかりません。

一日一日を大切に、今やるべきことを先延ばしにせずしかりやらなければなりません。

感染予防対策を徹底し、目標に向かって走って行ってください。